

現行計画

基本目標

高齢者がその尊厳を保ち、健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、支援が必要になっても地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指します

方向	施策	現行計画の課題
(方向1) 健康で生きがいを感じながら活躍し続けられるために	(施策1) 健康と元気でいられる環境づくり	○健康寿命の延伸 ○介護予防・健康づくりに向けた取組の強化
	(施策2) 知識・経験や能力を生かして活躍し続けられる機会の充実	○生きがいを感じながら生涯活躍し続けられる環境の整備
(方向2) 住み慣れた地域で暮らすことができるために	(施策3) 必要な支援を得ながら自立した生活を続けられる体制づくり	○多様なニーズに応じたサービスの提供・整備
	(施策4) 地域の資源やつながり、専門職の連携を生かした地域の支え合いへの支援	○地域のつながりの強化・支え合いの体制の強化
	(施策5) 認知症の人が安心して暮らせるまちづくり	○認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進
(方向3) 介護サービス基盤が充実し、それを支える人材が確保されるために	(施策6) 介護サービス基盤の整備	○効果的な介護サービス基盤の整備
	(施策7) 高度化する介護ニーズへ対応できる人材の確保	○多様な人材の確保・介護職の魅力向上

次期計画策定に向けて

次期計画策定にあたっての整理

現行計画の基本目標を基本的には継続しつつ、支援の必要性の有無に関わらず、高齢者の誰もが自分らしく暮らしていくことのできる社会の実現をさらに意識した基本目標の設定

取組の基本的な方向は、現行計画を継続するが、介護予防や健康づくりへの取組の推進については、国の「健康寿命延伸プラン」に沿った表現とし、同プランも踏まえた取組に向けた方向の設定
(施策の展開) ・介護予防や健康づくりへの取組を強化するための地域づくりや支援の充実 ・知識や経験などの有無に関わらず、全ての高齢者が活躍できる環境づくりの整備
住み慣れた地域などで、自身の希望や状態に応じて、多様な「すまい・すまい方」を選択でき、支え合いの中で、安心して暮らすことができるための取組に向けた方向の設定
(施策の展開) ・生活支援に対するニーズなど、自身の状態に応じた多様な支援に対応するための支援体制づくりの強化 ・地域の支え合い活動で築いてきた人的資源等をより幅広く強固に結びつける取組の推進 ・地域共生社会の理念や認知症施策推進大綱に基づき、認知症の人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができるまちづくりの推進
必要な施設整備とサービスを提供する人材の確保の取組を進めるとともに、介護人材が意欲を持って働き続けられるような環境づくりのさらなる推進に向けた方向の設定
(施策の展開) ・今後の介護サービスの需要や、地域の特性を踏まえた効果的な介護サービス基盤整備 ・多様な人材確保を進めるとともに、介護現場の業務効率化など介護人材が働きやすい環境づくりの推進

次期計画の基本目標と施策体系の基本的な枠組み（案）

高齢者が健康で生きがいを感じながら、社会を支え続けるとともに、地域で安心して誰もが自分らしく暮らすことができる社会の実現を目指します

健康寿命を延伸するとともに社会で活躍し続けるために	高齢者の健康と元気を応援する地域づくりと支援の充実	高齢者の介護予防や健康づくりを支援することで、QOLの維持・向上を図る取組
	高齢者が生涯活躍できる環境の整備	高齢者が意欲的に社会で役割を持って活躍できるよう、多様な社会参加や就労などを促す環境を整備する取組
共に支え合い安心して暮らし続けるために	自立した生活を続けるための生活支援体制づくりの強化	自身の希望に合った住まいや暮らしを維持できる環境を充実する取組
	地域の多様な主体が連携する地域ネットワークづくりの推進	医療・介護連携の強化を図るとともに、それぞれの地域資源とのネットワークを構築し、支援が必要となった高齢者を支える取組
	認知症の人が希望を持って自分らしく暮らし続けることができるまちづくりの推進	当事者や家族の視点を重視しながら、「共生」と「備え」を車の両輪とした認知症施策推進の取組
介護サービス基盤の充実と介護人材の活躍を支えるために	効果的な介護サービス基盤の整備	今後の介護サービスの需要や、地域の特性を踏まえた基盤整備の取組
	多様な介護人材の確保・育成と働きやすい環境づくりの推進	新規人材の確保・離職防止の双方の観点からの総合的な人材確保の推進や介護職員のスキルアップ、キャリア形成への支援、介護現場における業務効率化に向けた取組